

領域 8 インフォーマルミーティング議事録

開催日時：開催日時：2020年9月10日 18:00-19:00

開催場所：オンライン会議(Zoom)

出席者

領域代表（任期：2020.4-2021.3）

藤 秀樹（神戸大理）

領域副代表（任期：2020.4-2021.3）

楠瀬 博明（明大理工）

次期領域副代表（任期：2021.4-2022.3）

石田 憲二（京都大理）

次次期領域副代表（任期：2022.4-2023.3）

有田 亮太郎（東大工）

領域運営委員（任期：2019.10-2020.9）

榊原 寛史（鳥取大工）、白井 秀知（島根大院自然）、大槻 太毅（京大人環）、
竹森 那由多（岡山大基礎研）

領域運営委員（任期：2020.4-2021.3）

山中 隆義（東理大理工）、平井 大悟郎（東大物性研）、町田 理（理研 CEMS）、
光田 暁弘（九大院理）、山田 武見（東理大理工）

次期領域運営委員（任期：2020.10-2021.9）

久保 徹郎（岡山理大理）、鈴木 雄大（阪大工）、鍋島 冬樹（東大院総合文化）、
野本 拓也（東大工）

出席者数：40名程度（上を含む）

議題

1. 領域メーリングリストサーバーの容量について（白井）

全領域で共有しているメーリングリストサーバーの容量が現在1000MB中954MB使用されており、非常に逼迫している。

→領域8では50MB使用していたが、メーラーデーモンからの返信を消したところ16MBまで削減することができたため、各領域のメーリングリスト担当者に、事務局を通して呼びかけて、容量を確保する。

2. プログラム編集について（榊原）

通常の大会との変更点

1) オンライン会議なので最終日午後も活用した

2) 部屋の大きさによるセッション配置の制限はなかった

→今後対面会議が可能になっても、web 会議と組み合わせたほうが良い？

(1 日目のシンポジウムの参加者が 375 人で、多くの需要に対応可能)

反省点・提案

1) UTe₂シンポジウムの日程が領域 3 のシンポジウムと重複していたので、領域 3 に調整してもらった(領域 8 が招待講演者の都合により動かせなかったため)、シンポジウムの重複解消については早めの対応が良い。

2) 編集作業の連絡は主にメールで行ったが、今後については Slack などの SNS の活用を提案する。また、プログラム編集用のファイルは Google drive 上で管理した。

3) 領域 11 との折衝を行わなかったため低温理論と電子系がかぶった。

(質問)

・今後の開催は原則オンサイト開催ということでよいか

→学会として明確な指針があるわけではないが、新型コロナウイルス感染症パンデミックが収束すれば、オンサイトで開催に戻ると思われる

(議論)

・もともと講演は減少傾向だが、新型コロナウイルス感染症対策による研究活動の制限で、特に実験の講演が次回減ることが予想される

・今回開催したことで、オンラインの良いところを実感した。オンサイト開催ができるようになった後も、人数が多くなり教室に入りきれなくなることもあるシンポジウム等だけはハイブリッド開催してもよいのではないか

【参考資料】

一般講演(申込みベース、口頭発表 4 件を領域 3 に移動)

一般講演数	口頭	ポスター	合計
低温	154	43	197
磁性	61	75	136
全体	219	118	337

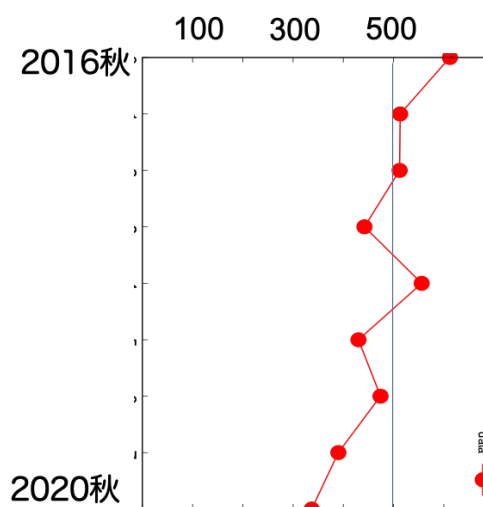
概要提出率： 96.2% (338/351, シンポジウム含む)

(参考) 2019 年 岐阜大の場合

一般講演数	口頭	ポスター	合計
低温	182	128	310
磁性	79	85	164
全体	261	213	474

(参考：過去の講演数合計，新規順)

2020 春 (コロナ中止)	390
2019 秋 (岐阜大)	474
2019 春 (九州大)	430
2018 秋 (同志社大)	556
2018 春 (東京理科大)	442
2017 秋 (岩手大)	512
2017 春 (阪大)	513
2016 秋 (金沢大)	612



3. 領域委員報告 (藤)

2020年5月27日に、領域委員会が開催された。

報告事項

- 1) 担当理事報告 (大槻 東巳 委員長、慈道 大介 副委員長)
 - ・ 今期領域正副代表紹介
 - ・ 第75回年次大会(2020年3月)の報告
 - ・ 2020年秋季大会オンライン開催について

審議事項

- 1) 2020年秋季大会招待・企画・チュートリアル講演、シンポジウム講演の採択状況：物性領域・大槻委員長)
 - ・ 招待講演：5件採択(条件付含む)、0件不採択
 - ・ 企画講演：17件採択、1件不採択
 - ・ チュートリアル：1件採択、0件不採択
 - ・ シンポジウム(一般)：7件採択(条件付含む)、0件不採択
 - ・ シンポジウム(共催)：1件採択、0件不採択
(領域8：一般シンポ：2件→採択)
- 2) 若手奨励賞受賞者の上限値について(領域8は4名)
- 3) その他
 - ・ 講演の英語対応調査(11月委員会で継続審議)
 - ・ 米澤賞受賞記念講演枠(1年以内に大会で企画提案、次回第一回の講演を企画)
 - ・ 参加登録費とアクセス権の扱いにかかわる意見交換(議論)
 - ・ 講演の英語対応に関連して、本会は修士学生の教育の場でもあり、英語化について、スライドは許容できるが発表は困難があるとのコメントがあった

4. 2020年度 領域8 学生優秀発表賞について (楠瀬)

募集期間：10月中旬～10月末

- ・ 詳しくは、本学会の終了後に、領域メーリングリスト、ホームページで周知
- ・ 応募者多数の場合は、事前書類選考を行う

参考：前回の募集要項（領域8ホームページ）

http://www.r8.div.jps.or.jp/call_student_presentation_award.html

本審査 2021年3月(東大駒場)の学会発表

- ・ オンラインであっても学会が成立する場合は、学生優秀発表賞を実施する

5. 次期運営委員の紹介および役割分担（榊原）

新型コロナウイルス感染症対策により前回インフォーマルミーティングがメールミーティングになってしまったため、今回のミーティングで次期委員も紹介する。

（公式ウェブにて名前は公開済み）

代表：鈴木 雄大（阪大工 磁性・理論）

副代表：鍋島 冬樹（東大総合文化 低温・実験）

Web担当・メーリングリスト担当：野本 拓也（東大工 低温・理論）

書記：久保 徹郎（岡山理科大理 磁性・実験）

任期：2020年10月～2021年9月

6. 次次期運営委員の推薦・承認（榊原，平井）

谷口 貴紀（東北大金研、低温・実験）

石角 元志（CROSS、低温・実験）

片山 尚幸（名古屋大工、低温・実験）

柳 有起（東北大金研、磁性・理論）

日高 宏之（北大院理、磁性・実験）

任期：2021年4月～2022年3月

※実験家の人数が多い理由は領域8全体の人口比を反映するため。

本インフォーマルミーティングで承認された。

6. 次次期領域副代表の推薦・承認（榊原，楠瀬）

（副代表任期：2022.4－2023.3）

（代表任期：2023.4－2024.3）

有田 亮太郎（東大工）

本インフォーマルミーティングで承認された。

7. その他の告知事項（藤，他）

論文賞・米澤賞・代議員候補者の推薦受付中

[jps-f8 02651]

日本物理学会第 26 回論文賞受賞候補論文の推薦について（領域 8）

・締め切り：2020 年 10 月 5 日（月）

・宛先：領域 8 代表・藤 秀樹 tou@crystal.kobe-u.ac.jp

[jps-f8 02655]

第 2 回（2021 年）日本物理学会 米沢富美子記念賞 授賞候補者の推薦について

・締め切り：2020 年 10 月 5 日（月）

・宛先：領域 8 代表・藤 秀樹 tou@crystal.kobe-u.ac.jp

[jps-f8 02667]

日本物理学会代議員候補者（領域 8）の推薦のお願い

・締め切り：2020 年 10 月 2 日（金） 午後 5 時

・宛先：領域 8 スタッフメール jps-f8staff@ml.riken.jp

以上
(文責 竹森)